骨材のふるい分け試験（ＪＩＳ　Ａ　１１０２）

様式・品質３－１

工　事　名

工　　　種

プラント名

試料採取場　　所

試験年月日

試験場所

測　定　者　　　　　　　　　　㊞

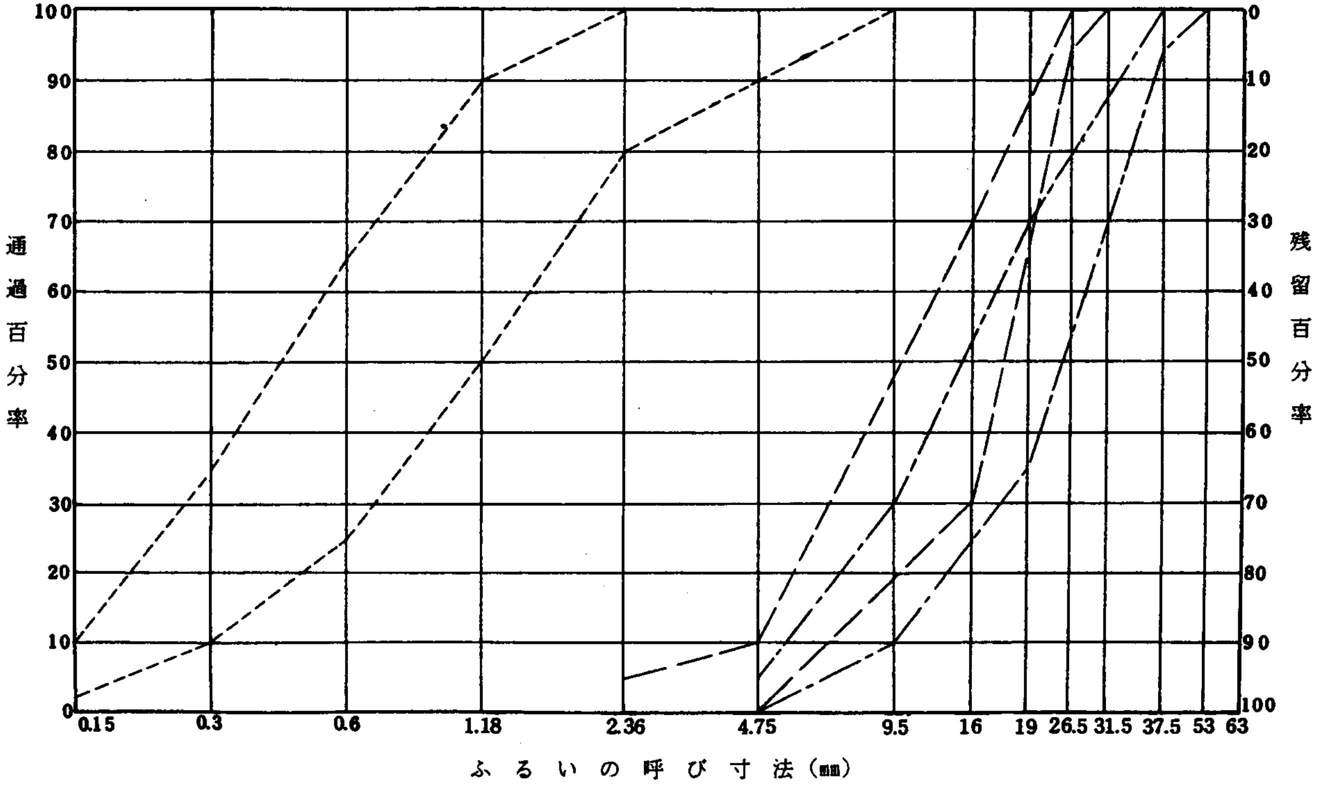
現場代理人

	細　骨　材	粗　骨　材
最大寸法	／	
産　　地		
比　　重		
吸水量		

比重、吸水量は　　年　　月　　日の測定値

細骨材の種類	粗　粒　率			粗骨材の種類	粗　粒　率		
ふるいの呼び寸法(mm)	ふるい残留質量(kg)	質量百分率(%)	累加質量百分率(%)	ふるいの呼び寸法(mm)	ふるい残留質量(kg)	質量百分率(%)	累加質量百分率(%)
				63			
				53			
				37.5			・
9.5				31.5			
4.75				26.5			
2.36				19			・
1.18				16			
0.6				9.5			・
0.3				4.75			・
0.15				2.36			・
皿			100	皿			100
計		100		計		100	

粒　度　曲　線


100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
通過百分率
0
10
20
30
40
50
60
70
80
90
100
残留百分率
0.15
0.3
0.6
1.18
2.36
4.75
9.5
16
19
26.5
31.5
37.5
53
63
ふるいの呼び寸法（mm）

様式・品質１２－１

防舷材形状管理表（例）

工事名＿＿＿＿＿＿＿＿　型式＿＿＿＿＿＿＿＿

年月日＿＿＿＿＿＿＿＿　現場代理人＿＿＿＿＿＿＿＿

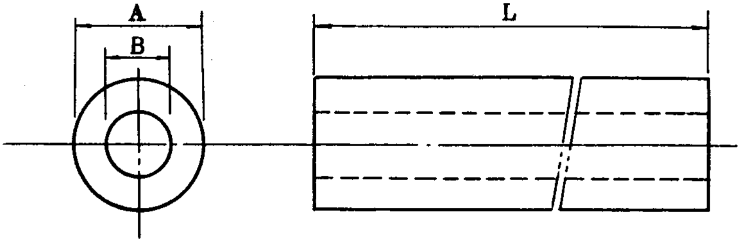
単位　mm

測定箇所		標準寸法	No.	No.	No.	備考
長さ	L_1					
	L_2					
幅	A					
	B					
高さ	H					
ボルト穴径						
ボルト穴の中心間隔	C					
	l_1					
	l_2					
その他						

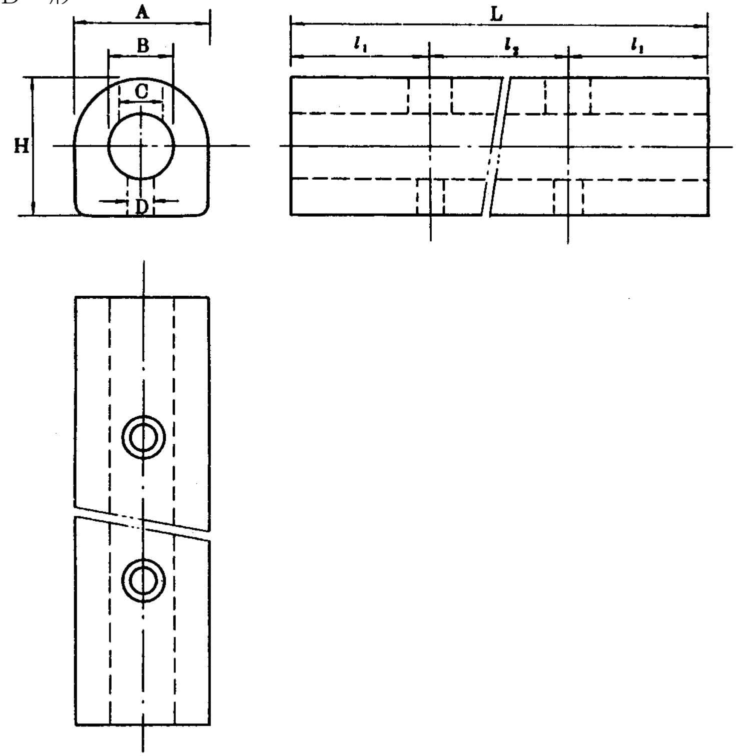
（別紙）

防舷材形状測定箇所（例）

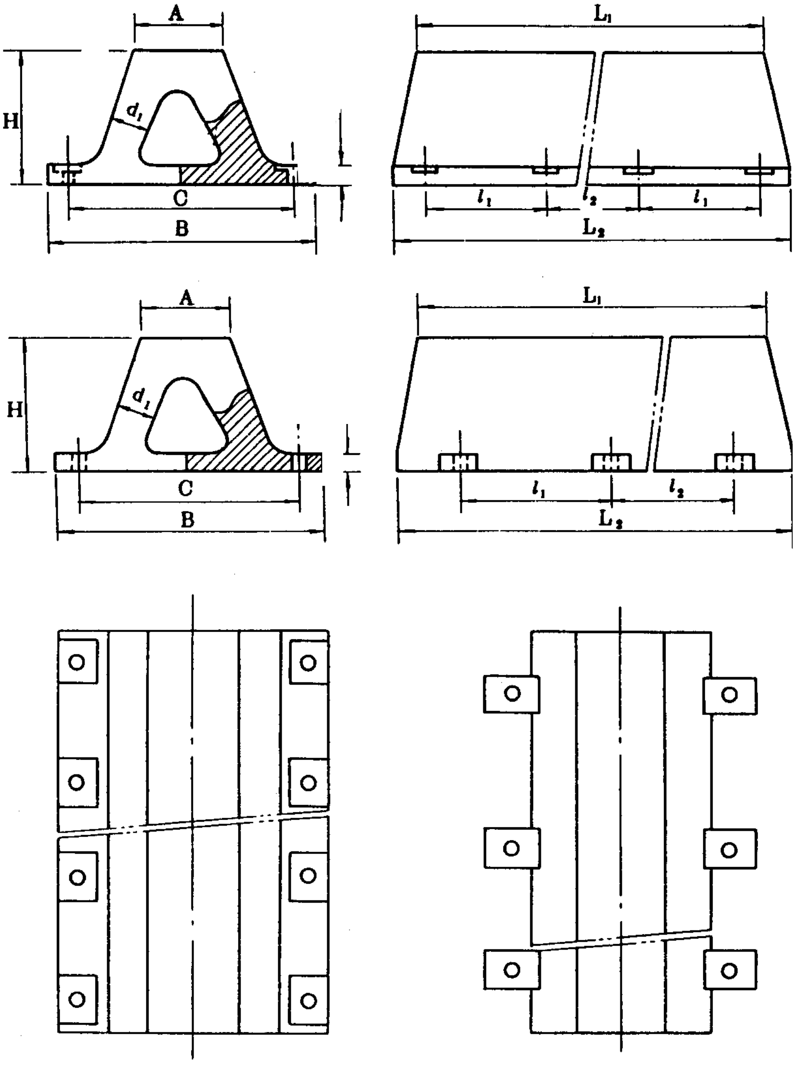
１．中空円筒形



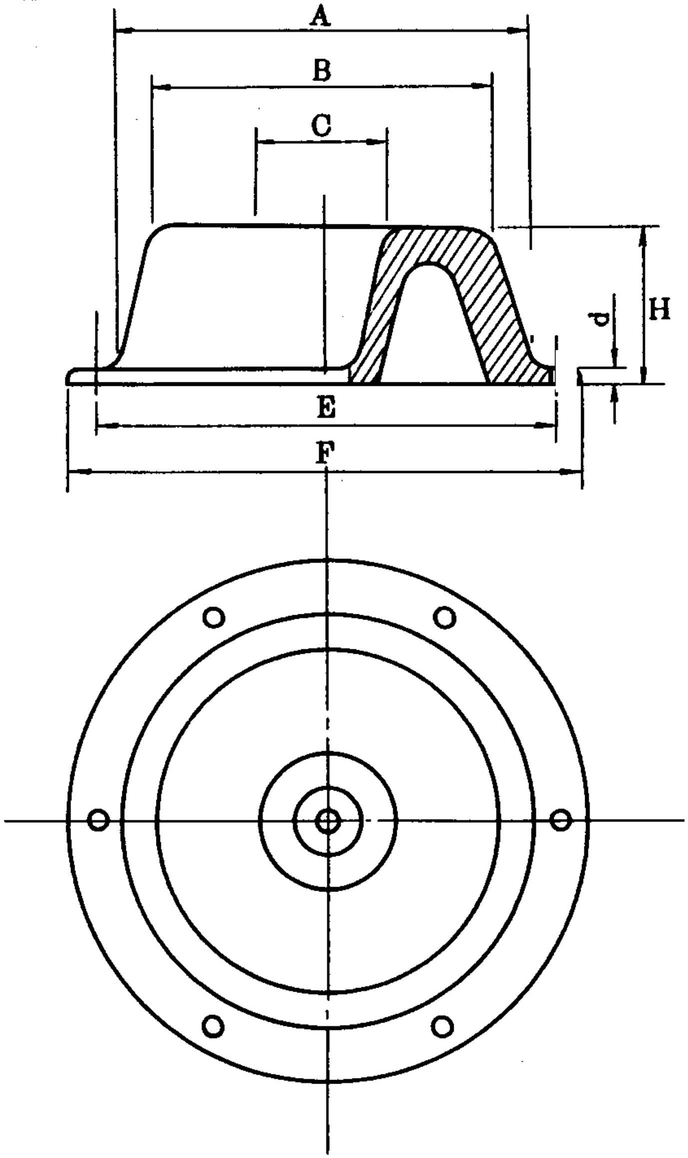
２．Ｄ　形



３．Ｖ　形



４．サークル形



コンクリート試験成績表（試験練用）

工　事　名　　　　　　　　　　　　　工　　　種

試　験　日　　　年　　　月　　　日　　立　会　者　　　　　　　　　　㊞

試験場所　　　　　　　　　　　　　　〃　　　　　　　　　　　　　　㊞

1　示方配合表

粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプの範　囲 (cm)	空気量の範　囲 (%)	水セメント比 W／C (%)	細骨材率 s／a (%)

2　現場配合表

コンクリート量 (m^3)	W (kg)	C (kg)	S (kg)	G (kg)
1				

3　試料採取及び養生（JIS　A　1115 及び 1132）

採　取　年　月　日	
採　取　場　所	
採　取　時　刻	
天　　　候	
気　　　温	
コンクリート温度	
ス　ラ　ン　プ	
空　気　量	
養　生　方　法	
養　生　温　度	
材　　　令	

プラント名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

測　定　者＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

現場代理人＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

単　　位　　量　(kg／m³)				
水，W	ｾﾒﾝﾄ，C	細骨材，S	粗骨材，G	混和剤( )

混　和　剤 (m□，g)	表　面　水 (%)		摘　　要	
	S	G		

４　試験成績表（JIS A 1108 又は 1106）

供試体番号	No.	1	2	3	平　均
供試体の直径	cm				
〃　幅	〃				
〃　高さ	〃				
〃　長さ	〃				
〃　スパン	〃				
最大荷重	kN				
圧縮強度	N/mm²				
曲げ強度	〃				
破壊状況					
そ　の　他					

コンクリート 強度（圧縮／曲げ）管理表

工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　工種＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

打設年月日	番号	スランプ（cm）	空気量（%）	温度（℃）	試験月日	X_1

設計条件

呼び強度　N/mm²	標準偏差　N/mm²
粗骨材の最大寸法　mm	変動係数　%
スランプの範囲　cm～　cm	割増係数
空気量の範囲　%～　%	配合強度　N/mm²

X管理図

管理限界＝

UCL＝

LCL＝

$\overline{X} = \dfrac{\Sigma X}{N} =$

※JIS工場の場合はRs、Rm、$(X-\overline{X})^2$、標準偏差、変動係数、割増係数、配合強

現場代理人＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

σ_{28}			Ｒｓ	Ｒｍ	$(X-\overline{X})^2$	摘　　要
X_2	X_3	平均値X				

Ｒｓ管理図　　　Ｒｍ管理図　　　標準偏差 $\sigma = \sqrt{\dfrac{\Sigma(X-\overline{X})^2}{N-1}}$

$\overline{X} \pm 2.66\overline{R}s$　管理限界＝$3.27\overline{R}s$　管理限界＝$2.57\overline{R}m$ (n＝3)

ＵＣＬ＝　　　ＵＣＬ＝

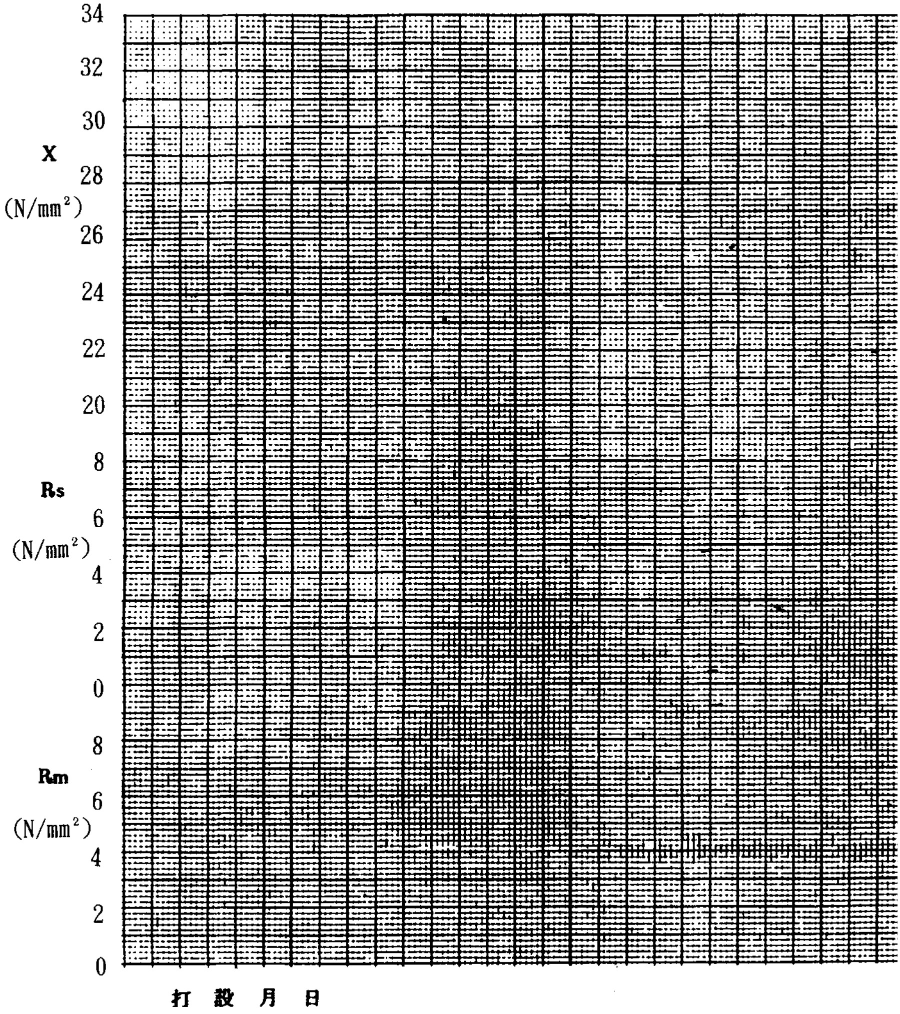
$\overline{Rs} = \dfrac{\Sigma Rs}{N-1} =$　　$\overline{Rm} = \dfrac{\Sigma Rm}{N} =$　　変動係数Ｖ＝ $\dfrac{\sigma}{\overline{X}} \times 100 =$

度は不要

コンクリート　強　度　（圧　縮／曲　げ）　管　理　図

工　事　名

工　種



現場代理人＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿